

## 《滋賀県いじめ防止基本方針(平成29年9月改定)》

○いじめの問題への対応は、学校だけでなく社会における重要課題の1つ

○「子ども目線」に立ったいじめの把握と学校の組織的かつ迅速な対応による「いじめの解消」を目指す

## 総合的な対策の推進

滋賀県いじめ問題対策連絡協議会

## 現状・課題

いじめの認知件数(件)				
H24	H25	H26	H27	H28
855	1288	1497	2633	4855

いじめの発見のきっかけ・相談状況			
	小学校	中学校	高等学校
本人の訴えによる発見	26.1%	32.9%	35.0%
教職員による発見	39.3%	37.7%	46.2%
誰にも相談していない	2.8%	3.9%	5.6%

※児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より

### ①子どもの自尊感情の醸成とよりよい仲間づくりの課題【平成29年度全国学力・学習状況調査】

- ・自分には、よいところがある」と回答: 滋賀県小学生38.2%(全国38.6%)、滋賀県中学生26.1%(全国28.2%)
- ・「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」と回答:

滋賀県小学生11.6%(全国13.9%)、滋賀県中学生8.0%(全国10.5%)

### ②教員の資質向上に係る取組と学校の組織体制の課題

- ・いじめを認知していない学校(H28 いじめ0の学校は13.3%)があり、学校間に認知の格差がある。
- ・いじめの発見のきっかけで、誰にも相談していなかった児童生徒もいる。
- ・いじめの認知の判断基準について、「継続性、集団性」等の要素により、限定する例がある。(総務省勧告)

### ③家庭・地域・関係機関との連携の課題

- ・「PTAや地域の関係団体等とともに、いじめ問題について協議する機会を設けた」と回答した学校の割合: 滋賀県公立小学校44.4%、公立中学校53.5%

## 対策・取組

## ～子どもたちの活躍の場づくり、「チーム学校」による組織的対応の充実～

### ①児童生徒が主人公となる学校づくり

#### ○滋賀県いじめ問題サミット

- ・ H29湖南・湖西、H30湖東・湖北
- ・ H31全县 ⇒ 各市町、中学校区単位での開催への広がり

○考え、議論する道徳と体験活動の充実

○人権意識や自尊感情の向上

- ・ 自尊感情・学びの礎育成プロジェクト

○いじめや差別を許さない学校づくり

- ◇児童生徒によるいじめに特化した取組  
小学校85.1%、中学校97.0%、  
高等学校56.4% (H29教育委員会組織目標)

### ②教員の資質向上・学校組織の充実

○学校による組織的対応の充実

- ・ スクールカウンセラー等活用事業
- ・ スクールソーシャルワーカー活用事業
- ⇒ 被害者へのケア
- ⇒ 加害者への指導と成長支援

○教員の資質向上

- ・ 教育相談スキルアップ研修
- ・ いじめに関する学校訪問
- ・ 生徒指導・教育相談担当者連絡協議会
- ・ いじめ対応リーフレット発行
- ・ ストップいじめアクションプラン改定

### ③児童生徒・学校を支える関係機関のサポート体制の充実

○第三者による児童生徒支援の継続

- ・ いじめで悩む子ども支援事業
- ・ 生徒指導緊急サポート事業
- ・ 24時間子どもSOSダイヤルによる相談支援

○重大事態への対応

- ・ 生徒指導緊急特別対応事業
- ・ 滋賀県立学校いじめ問題調査委員会
- ・ 滋賀県いじめ問題再調査委員会

○家庭・地域・関係機関との連携推進

- ・ 地域学校協働本部事業
- ・ コミュニティスクール

## 滋賀県いじめ問題生徒会サミット

- ①いじめをするのが私たちなら いじめをなくすのも私たち ②あいさつは いじめ防止の特効薬 ③相手を尊重 自分も尊重

## 【いじめをなくす三か条】